

特集：水害時の衛生対策

巻頭言

万が一にでも選挙になる可能性を考えて、二つの問題についてお話ししたいと思います。

一つ目が「非正規雇用問題」です。この問題の本質は、派遣法の問題であり、小泉・第一次安倍内閣と奥田・御手洗経団連会長時代に派遣業務の対象を拡大し、2004年には製造業にまで派遣を解禁してしまったところにあると思っています。現首相は、骨太の方針で「分厚い中間層を再構築する」などと、とんちんかんなことを云っていますが、その分厚い中間層を壊してしまったのが、外ならぬ自民党政治であり、団体・企業向きの政治が問題なのです。非正規が全労働者の40%以上を占めてしまっている今の状態で、どうしたら分厚い中間層を再構築することができるのでしょうか。もし本気で云っているのなら、派遣法を1999年の法改正前に戻し、そして現在の非正規社員で望む人全員を正規にするぐらいのことをしなければ絶対に無理な話です。「失われた30年」の間に企業は正社員を非正規に置き換えることで内部留保を500兆円に増やし、国民は平均所得が韓国にも抜かれ、OECD加盟国35か国中22位と平均以下の貧困国民になってしまいました。

二つ目が「少子化問題」です。実はこの少子化問題は、前出の非正規の問題と表裏一体で、非正規問題の解決が、少子化問題の重要な解決手段になります。所得制限をなくし子供手当を増やしても全く問題は解決しません。こんなデータがあります。年収300万円以下の男性の既婚率が30%で、年収600万円以上の既婚率が80%と云うものです。結婚した夫婦は平均1.9人の子供を持つことから、少子化対策の基本は、如何に結婚したいと思う男女を増やすかに尽きるのです。結婚しない理由の一番が将来に対する不安であり、その原因が年収の低さです。少子化対策は結婚しようと思える収入にすることであり、そしてその即効性のある解決策が、非正規を正規に変えることです。正規の男性の平均所得が569万円、非正規の男性の平均所得が266万円です。実は20兆円もあれば、非正規を正規にすることが出来てしまいます。特に30代40代の非正規の方を正規にすることは大変重要です。使いきれない内部留保を使い、政治の責任において非正規を正規にする等、少子化対策としてやるべきではないでしょうか。当然今の自民党では無理なことですが……。

私はいつもこの手の話をするときには云っていますが、自民党がダメで野党が良いと云っているわけではありません。今の野党も問題山積です。言いたいのは、「問題がある政権・政党を変えることが出来るようにしましょう」と云うことです。変えられないと思っているから、今の自民党政権は国民の方を見ないのです。その良い例が、この国難であったコロナ禍とその後の強烈なインフレ時に、減税をしないのが自民党政治です。ほかのほとんど全ての国・政権は減税をしました。しかし自民党政権がやることは、団体・企業に私たちのお金を入れて、上前をはねた残りを国民に回すのです。アベノマスクと同じです。次の選挙では無理だと思いますが、もう一回政権交代をさせなければ、本当に日本は終わってしまう気がします。

(雅)

水害時の衛生対策

先日の台風 2 号の接近による記録的な大雨は、日本各地に大きな爪痕を残しました。1 時間に 80 ミリ以上の猛烈な雨が降り、降り始めからの雨量は東海地方では 500 ミリを超えました。その結果、静岡県を含む 7 都県で河川の氾濫に伴う建物の浸水被害、道路冠水、土砂崩れといった被害が広い範囲で起きてしまいました。今回の M-TEC インフォメーションでは、住宅や店舗が浸水被害に遭った場合の清掃や消毒方法といった、水害時の衛生対策についてご紹介します。

浸水後の衛生対策

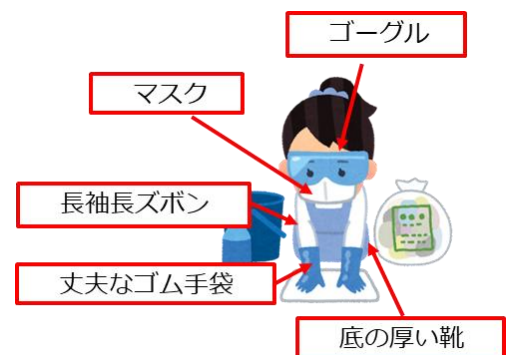
建物が浸水した場合、カビや細菌が繁殖し、感染症や食中毒が発生しやすい環境になります。そのため、浸水した建物は、**清掃、乾燥、消毒の順番**で衛生対策を実施することが望ましいです。特に、道路が冠水した場合には下水道から汚水が逆流していることがあります。そのような汚水によって浸水した場合は、感染症のリスクが高まることから、十分に汚れを除去し、乾燥させてから消毒を実施することが重要です。



清掃と乾燥

作業時の服装については、長袖長ズボンを着用し、丈夫なゴム手袋や底の厚い靴を使用します。清掃中の怪我による傷口からの感染には注意が必要です。また、目や口に汚れが入らないようにゴーグルやマスクも着用します。清掃は窓や扉を開けて換気をしながら実施します。換気は室内を乾燥させると共に、カビなどを吸い込まないようにするために大切です。

床上浸水と床下浸水の場合の清掃の方法は以下の通りです。清掃が終わった後は、扇風機などを回して乾燥させます。そして手洗いも忘れずに実施しましょう。



床上浸水の場合

床下浸水の場合

清掃方法

- (1) 濡れた畳や家の中の不要物の片付け
- (2) 床、壁、家具を水で洗い流すか水拭き
- (3) 食器類や調理器具の水洗い
- (4) 棚や冷蔵庫の汚れをふき取る
- (5) 汚れた洗うことのできない家具（カーペット、布製ソファなど）を撤去
- (6) 布類・衣類の熱水洗濯、もしくは 80℃の熱水に 10 分以上漬けた後洗濯
- (7) 扇風機やサーキュレーターを回して乾燥



- (1) バケツ、雑巾、モップで水抜き
水中ポンプで水抜き（水の量が多い場合）
- (2) 汚泥や不要物の片付け
- (3) 換気口のゴミの除去
- (4) 扇風機やサーキュレーターを回して乾燥



水中ポンプによる水抜き

消毒

消毒は、汚れが残っていると効果が発揮されにくいいため、必ず清掃や乾燥をさせた後に実施します。特に**食品を取り扱う場所、小さなお子様やお年寄りが生活する場所はしっかりと消毒する必要があります**。消毒方法や消毒薬の使い分けについては以下の通りです。

厚労省では床下の消毒は原則として不要とされていますが、浸水時に下水などが流入している場合や、汚染のリスクを少しでも減らしたい場合は、**床下についても消毒をすると安心**できます。



床下への消毒薬の噴霧

場所	消毒薬		
	次亜塩素酸ナトリウム液	塩化ベンザルコニウム液	消毒用アルコール
食器	200ppm に希釈	1000ppm に希釈	原液で使用
流し台	5 分間浸漬	液を含ませた布で拭く	液を含ませた布で拭く
家具	1000ppm に希釈	1000ppm に希釈	原液で使用
床、壁	液を含ませた布で拭く	液を含ませた布で拭く	液を含ませた布で拭く

<消毒薬の使い分け>

- ・ **次亜塩素酸ナトリウム液**：汚染の程度が高い場合、長時間浸水していた場合に使用。
- ・ **塩化ベンザルコニウム液や消毒用アルコール**：次亜塩素酸ナトリウム液では色褪せや腐食等が起こり、使用できない場合に使用。床下の消毒には主に塩化ベンザルコニウム液の使用を推奨。

※床下への消石灰の散布は、健康上の危険を伴うため、推奨されません。

浸水後はシロアリの発生にご注意を

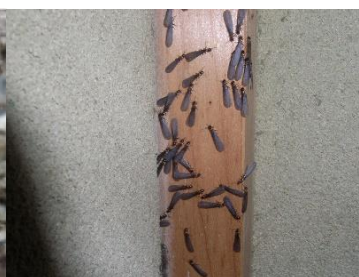
住宅が浸水した場合、しばらくしてからシロアリの被害に逢うケースがあります。これは、しっかりと水抜きや換気をしていないと床下に湿気がこもってしまい、シロアリにとって好適な環境になるからです。また、シロアリ予防処理をしていた住宅でも、浸水によって薬剤の効果が無くなると共に、**シロアリ保証も失効**してしまいます。そのため、浸水後はシロアリ予防処理の実施をお勧めします。なお、シロアリの木部用薬剤には防腐剤も含まれているため、床下の**カビの抑制にも効果**があります。



床下のシロアリ被害



シロアリ



翅アリの群飛



床下への薬剤処理

浸水後の消毒やシロアリ防除は弊社までお問い合わせ下さい。

害虫獣紹介

ルリアリ

頻りに掃除をしているのに何故か家にアリが侵入してくる。そんな悩みを抱えていませんか。もしかしたらそれはルリアリが原因かもしれません。今回はティッシュ箱にも巣を作るルリアリについて紹介します。

生態

ルリアリは、本州南部から四国、九州、琉球列島にかけて生息しています。体長は2mm前後と小型で、体は黒色で、腹部に弱い金属光沢があり、脚や触角は褐色味を帯びています。ルリアリは雑食性ですが、肉食を好む傾向にあり、蜂の巣を襲い、絶滅させるほど気性が荒いです。また、乾燥した環境を好み、野外では、枯れ枝や朽木、石下などに巣を作ります。人工環境下でもよく巣を作ることがあり、段ボールや植物鉢の下などにも巣が見られます。多女王制で、1つの巣に複数の女王アリが見られ、巣を幾つもの場所に分散して作ります。



写真 ルリアリ (女王アリ)
Ochetellus glaber

被害

ルリアリは、体長が小さく、雑食性であることから頻りに屋内に侵入してきます。枯れ木や枝などに巣を作ることから、植物繊維できているティッシュ箱に巣を作ることがあります。また、電子機器のわずかな隙間から侵入し、内部に巣を作ることによって故障の原因になることもあります。テレビ、冷蔵庫、時計やプリンターなど様々な機器から発見例があり、過去には信号機を故障させた事例もあります。

対策

駆除にはベイト剤（毒餌）を設置し、働きアリに毒餌を持ち帰らせることで女王アリの殺虫し、巣ごと駆除する方法があります。また、それと同時に建物周辺の雑草の除去と忌避剤を散布することでアリが侵入しづらい環境を作ることも重要です。屋内への侵入経路が判明している場合は、経路に市販のスプレー式殺虫剤を噴霧することで侵入を防げることができます。しかし、ルリアリは巣を分散させて作ることから、完全な駆除が難しく、何年も発生が止まらないこともあります。そのような場合は専門業者に相談しましょう。

食中毒情報

件数としては寄生虫、患者数としてはノロウイルスを原因とした食中毒が最も多く発生していました。例年、この時期にはノロウイルス食中毒は収束していますが、今年は6月に入っても発生が続いていました。ノロウイルス対策（健康チェック、手洗い・手袋着用）の継続をお願いします。

今月は、黄色ブドウ球菌を原因とした食中毒が2件発生していました。余談ですが、そのうちの1件で弊社の社員も食中毒になっており、保健所などの聞き取り調査を受けました。黄色ブドウ球菌は、もともと人の手指に付いている菌で、調理中に食品に移って毒素を作ることによって食中毒の原因になってしまいます。一旦食品中で毒素を作ってしまうと、加熱しても壊せないため、食品に菌を付けない管理が重要です。調理従事者の手洗い・手袋着用を徹底して、食中毒発生を予防してください。

全国食中毒発生状況 (5/15~6/14 新聞発表分等)

原因物質	件数	患者数
寄生虫	9	16
カンピロバクター	8	39
ノロウイルス	7	236
自然毒	4	29
不明・その他	10	210

『ひとつ、ふたつ・・・快適環境を生み出します』

MARUMA MITEC
株式会社 マルマ エムテック衛生検査所
メールアドレス：info@maruma-ec.co.jp

本 社 / 〒430-0807 浜松市中区佐藤 2 丁目 5-11
TEL：(053)464-6400 FAX：(053)465-4120
東京支店 / 〒194-0005 東京都町田市南町田 2-15-14
TEL：(042)850-6454 FAX：(042)850-6456
静岡支店 / 〒422-8046 静岡市駿河区中島 960-1
TEL：(054)202-0210 FAX：(054)202-0220

名古屋支店 / 〒496-0027 愛知県津島市津島北新開 234-2
TEL：(0567)69-4080 FAX：(0567)69-4081
大阪支店 / 〒555-0032 大阪府大阪市西淀川区大和田 3-5-6
TEL：(06)6475-6550 FAX：(06)6475-6567